

ますます問われる町長の政治手法



池沢 のりこ 議員

町行政の機構改革とともに、人財育成が大切だ。対人能力を磨くべきでないか。スピード感を持って「働ける」人（職員、地域の方）が必要でないか。

池田町長

フットワークの軽い職員が、地域に向くことにより、対人能力もアップする。接遇研修を基本に、職員研修を強化する。

池沢議員

今後の町政の課題は、良い意味での変化・変革がどれだけできるかではないか。今後とも、ますます町長

の政治手法が問われてくる。職員が、行政マンとしてプライドを持ち、町長に対して、はっきりと物が言えるような雰囲気、信頼関係づくりが必要でないか。

池田町長

職員が物を言いやすい職場にしていこう。



花壇手入れ作業（グリーンパークほどの）

追手前高校

吾北分校存続を

池沢議員

平成29年度入学生が19

人。平成30年度20人以上の生徒数確保に向け、具体的に何をしているのか。

池田町長

町としての支援（新入生支援金や通学補助）を継続する。今以上にPRし、進学のための指導充実や、就職のための専門的な学習支援を行う。

みどり寮から通えないか

池沢議員

長沢小は、全部で9人。平成30年度長沢小から本川中へ行く子どもは、一人もいない。みどり寮生（山村留学生）を少なくとも2人確保しないと、先生の数が少なくなる心配がある。

- ①山村留學生確保のためのみどり寮の施設環境整備計画を問う。
- ②山村留學生が、追手前高校吾北分校へ進学を希望した場合、みどり寮から通学できるようにしないか。

藤岡教育長

①みどり寮の整備は相当な施設設備改修や職員の確保が必要となる。使われてい

ない教員住宅の見直しも含めて、少しでも多くの生徒が来られるようにしていこう。

池田町長

②今後、検討していく。

見えてきたものは

池沢議員

①これまで町政懇談会を実施して、町長として今後の町づくりで見えてきたものは。

②伊野地区の開催予定は。

池田町長

①本川・吾北地区では、少子・高齢化や人口減についての強い危機感、地域の存続に対する切実な思いをひしひしと感じた。今後は、私をはじめ職員が地域に出て、地域の声に耳を傾け地域とともに課題解決に向けて取り組んでいくことが求められていると痛感。

②平成30年1～3月にかけて各区長と協議し開催予定。開催できない所は、4月以降計画していく。

要望活動しつかり 取り組んで

池沢議員

国・県への要望活動（土木関係）の成果は、継続事業が多い。他の新規事業についても努力すべきだ。仁淀病院の医師確保は。

池田町長

喫緊の課題で、今後高知大学などにも相談に向かう。

平成30年度予算

池沢議員

平成30年度予算編成にあたり、財源の確保と町単独補助金の見直しは。

池田町長

今後の予算査定において行っていく。

その他の主な質問事項

- ①平成30年度からの英語教科化（小学校5・6年生）に向け、電子黒板を各学年に1台ずつ導入しないか。
- ②平成30年度予算編成・基本計画と取り組み状況・長期健全財政運営